

病害虫防除技術情報第17号

令和5年12月20日
三重県病害虫防除所

1～3月は高温のため、スクミリンゴガイの越冬量が多くなる予想です。冬期の耕起で貝の越冬量を減らしましょう。

1 対象作物：水稲

2 対象病害虫名：スクミリンゴガイ

3 発生状況

(1) 巡回調査（6月第1～2週）では、スクミリンゴガイの発生圃場率は11.0%（過去9か年平均 5.9%）と多い結果となりました。

(2) 3か月予報（12月19日・名古屋地方気象台発表）によると、1～3月の気温は平年より高い予想です。そのため、スクミリンゴガイの越冬量が多くなる可能性があります。

4 防除対策

(1) 耕起防除は2回以上行いましょう。

(2) 耕起1回目は貝を物理的に破砕します。

①田面が硬いときに、②ピッチを小さくし低速で土壌を細かく砕くようにすることがポイントです。深さ6cm程度の浅耕で効果が高いです。

(3) 耕起2回目は土中の貝を寒さにさらします。

①厳冬期（1～2月）に、②慣行の設定で走行し、作土深の確保に努めましょう。

(4) 耕起後にレーザーレベラーなどを用いて田面を均平にすると、移植後の浅水管理の効果が高くなります。

(5) 春以降の対策とセットで体系的に防除を行うことで一層効果を高めることができます。

(6) スクミリンゴガイ防除対策マニュアルが、以下の URL の技術資料ページで公開されていますので参考にしてください。

<https://nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/mie>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。